



土中の絆

土成中学校通信

R4年度 No.5

5月25日発行



とっておきのいい話 ～教えてください 元気の出る話～



校長室前廊下の掲示板に、今年度の「土成中学校のめざす生徒の姿」を表記しています。具体的には次の三つの生徒の育成をめざしています。「1 自分のよさや他人のよさを認められる生徒」「2 限界を決めず自分の殻を打ち破れる生徒」「3 互いのちがいを認め合い学び続ける生徒」です。

生徒たちに、友だちのよさや自分のよさ、先生や家族のよさに気づいてほしくて、具体的な取組として、「とっておきのいい話 ～教えてください 元気の出る話～」を掲示しました。ハート型の付箋に「感動したこと、うれしかったこと、気づいたこと、すごい人のこと、感謝したこと、成長できたこと、よく頑張っていること、地域の人との交流のこと、部活動のこと」などを自由に書いて、大きなハートの上に貼ってもらっています。校長室前の廊下を通る多くの生徒たちは、ハート型の付箋に書かれた内容を立ち止まって読んでいます。貼られた付箋には、右下の付箋「私の友達で困っている子がいたらすぐかけよっていき子で真似をします。(尊敬)」などがあります。このように、友達のよいところに気づき、それを自分も取り入れていこうとすることが、学校全体で広がっていくと、学校が温かい雰囲気になって、とても過ごしやすいです。生徒たちが、周りの人たちに興味を持ち、感謝の気持ちで様々な言動をとらえて、素晴らしい行いが付箋にたくさん書かれ、大きなハートにあふれるほど貼られたらいいなと思います。もちろん、自分の頑張りも遠慮なく書いてくださいね。

